



第28回 全国青少年武徳祭



日時： 令和5年7月17日（月・祝）
午前10時30分
場所： 京都市旧武徳殿
主催： 一般社団法人 大日本武徳会
後援： 京都府・京都市

第二十八回全国青少年武徳祭報告

至誠館道場 藤井 正巳

令和五年七月十七日、武徳殿において、第二十八回全国青少年武徳祭がとり行なわれました。午前八時三十分前に武徳殿集合し設営準備にはいりました。

午前十時より平安神宮の祈願祭に於いて、修祓、玉串拝礼、奉納演武が執り行われました。

午前十時三十分すぎに東伏見慈晃総裁が来場され、十時三十五分より坂本俊一監事の太鼓の合図にて、開会式が始まりました。

国旗、武徳会旗、英霊に対し礼をした後、渡邊佳代子理事のチャイムにより黙祷をしました。

東伏見慈晃総裁より大会式辞があり、正守和道塾より団体優勝杯が返還されました。

選手宣誓は、こぼと修童館の永渕匠真さんが行いました。

本部役員の先生方は、竹田理事、山田理事、渡邊理事、上村理事、中田理事、藤井理事、坂本監事、平監事でありました。

居合道、渡邊眞子さんと空手道、瀬戸林隼人さんの晴らしい祓いの儀で演武が始まりました。

続いて日本武公館道場による居合道の演武、日本古武道晟慶館チームA、形意和真流唐手道武学館、武心流空手道継心会、こぼと修童館、日本古武道協会拳正

会チームA、日本古武道協会拳正会チームB、正守和道塾チームA、正守和道塾チームB、日本古武道晟慶館チームB、一心無双流剣心会と続き、納めの儀には

いりました。

納めの儀は居合道、古倉權さんと空手道、藤本望鈴さんが卓越した演武で締めくくられました。

表彰においては、きつちり整然とし、順序良く適切に流れるような素晴らしい表彰式であり、多くのものを学び取りました。

そして坂本俊一監事による講評があり、竹田豊理事による閉会の辞に続き、上村雅彦理事の太鼓で、大会は終了しました。

全員で武徳殿内にて記念写真の撮影おこないました。

今回は、コロナ禍の折、更に猛暑の中皆様の実力が発揮された大会となりました。

御礼の御挨拶

第28回全国青少年武徳祭も皆様の多大なるご協力と御支援によりお陰様で無事盛大裡に終了いたしました。

ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

一般社団法人大日本武徳会

大会参与

ご協賛及びお祝金をいただいた個人及び団体（順不同）

御芳名	御芳名
濱田 鉄心 様	日本古式武道協会 拳正会 様
竹田 豊 様	木下 公子 様
中田 武太 様	渡邊 祥正 様
山本 楠城 様	正守和道塾 様
山田 文典 様	藤本 准三 様
中野 秀人 様	聖護院八ツ橋総本店 様

大会次第

進行 藤井 正巳

平安神宮

平安神宮祈願祭
午前10時より

修玉奉
串納
拝演
祓礼武

竹田 豊

居合道 こばと修童館
空手道 形意和真流唐手道 武学館

高田 礼 仕
久保 舞 栞

開会式

午前10時30分

役員選手入場
太鼓の合図
開会宣言
国歌斉唱
黙祷・チャイム
団体最優秀杯返還式

坂本 俊一
中田 浩大

空手道 正守和道塾

竹田 豊
木村奏汰・藤本望鈴
東伏見慈晃総裁
濱田 鉄心

大会開会式辞
開会の辞
選手宣誓

居合道 こばと修童館

永 渕 匠 真典
山 田 文

演武上の心がけ
祓いの儀

居合道 日本古武道 晟慶館
空手道 武心流空手道 継心会

渡邊 眞子
瀬戸林 隼士

演武

演納 めの 武儀

居合道 日本古武道 武公館道場
空手道 正守和道塾

古 倉 權
藤 本 望 鈴

閉会式

午後12時30分

役員選手整列
表彰評
講評
閉会の辞
閉会宣言
太鼓の合図

役員全員
坂本 俊一
竹田 豊
藤井 正巳
上村 雅彦

参加者全員集合記念写真

第二十八回 全国青少年武徳祭 表彰

団体最優秀賞

石川県 こばと修童館

団体優秀賞

大阪府 日本古式武道協会 拳正会

団体奨励賞

広島県 武心流空手道継心会

団体努力賞 【四団体】

大阪府 日本古武道 武公館道場
 大阪府 日本古武道 晟慶館
 京都府 形意和真流唐手道 武学館
 京都府 正守和道塾

個人賞

個人最優秀賞

広島県 武心流空手道継心会 瀬戸林 隼士

個人最優秀賞 【三名】

石川県	こばと修童館	高田 礼仕
京都府	形意和真流唐手道 武学館	久保 舞葉
大阪府	日本古武道 晟慶館	渡邊 眞子

個人奨励賞 【三名】

京都府	正守和道塾	藤本 望鈴
大阪府	日本古武道 武公館道場	古倉 權
大阪府	日本古式武道協会 拳正会	小林 怜生

個人努力賞 【三名】

京都府	一心無双流居合道 剣心会	山田 一颯
京都府	形意和真流唐手道 武学館	藤原 美迅
大阪府	日本古武道 晟慶館	稲見 光馬

青少年感想文

個人優秀賞

こぼと修童館
中学校一年 高田 礼仕

僕はこの武徳祭のために一生懸命練習をし、しあげることができました。そして、その練習を生かし、本番に取り組むことができました。少し緊張したけど本気ですることができました。それで皆の力を合わせ演武をし、優勝することができたので良かったです。

武心流空手道継心会
小学校四年

瀬戸林隼士

古くから歴史がある武徳殿で演武ができて、とてもうれしかったです。ぼくは祓いの儀でも演武をさせてもらい、とても緊張しましたが、やりきることが出来、自信ができました。団体演武では、息を合わせてできて、きずなが深まりました。これからもがんばりたいです。



武学館
高校一年

久保 舞栞

明治より 絶えず続きし 伝統を
背負ひし我ら ここに集ふなり

個人奨励賞

「全国青少年武徳祭を終えて」

日本古式武道協会 拳正会B 玄武館
中学三年 小林 伶生

令和五年七月十七日（月・祝）に、京都市旧武徳殿にて第二十八回全国青少年武徳祭が開催されました。

今回の全国青少年武徳祭に参加して、参加したチームのレベルが、かなり高いと感じました。

しかし、その団体の中で、優秀賞をとれたのは、本番までチーム全員がしっかりと練習した結果が出たのだと思いました。

ただ、もつと動きの中でキレや一つ一つの動作をさらに良くしていけばチームでさらに上を目指せると思っています。

また、これからも本番の前だけでなく普段から全力で練習をして同じように団体と個人で、賞をとりたと思います。

個人努力賞

武学館
中学校一年 藤原 芙迅

しゅぎょうみせ 若者つどう 武徳殿

「全国青少年武徳祭に参加して」

日本古式武道協会 拳正会B 玄武館
小学六年 小林 りみ

令和五年七月十七日（月・祝）に、京都市旧武徳殿にて第二十八回全国青少年武徳祭が開催されました。

参加しているみなさんが、それぞれチームのため、自分のために全力で演武して、練習の成果を最大限まで発揮しようとする姿に惹かれました。

私の所属している団体は、優秀賞でしたが数字でいうと2番なので、それよりも上、1番を狙ってこれからも練習を続けていきたいです。

気合、動作、細かい動き、すべてに気を付け、全力で練習を行っていけば1番も夢ではないかなと思います。

最優秀賞をとれなかったのは少し悔しかったけれど、今のままで満足せず頑張っていきたいです。

全国青少年武徳祭に参加して

日本古武道 辰慶館

小路小学校三年

上田 京嗣

僕は、今回初めて武徳祭に参加しました。参加する前は、どんな場所で行われるか分からなかったし、技を最後まで覚えられていなかったたので、すごく不安でした。

実際に武徳祭が行われた武徳では、クーラーがなくてすごく暑かったけれど、観客席に椅子がなく畳がしいてあって、木がいっぱい使われたとてもカッコいい場所でした。

たくさんの方がいたのでとてもきん張して、いつもより大きな声が出せなかったけれど、最後まで頑張ることが出来ました。次はもっとしっかり技を覚えて演武したいです。

参加して良かったと思うことは、他の道場の人たちの演武を観れたことです。空手は全員で同じ動きをすることが少なく、それぞれが動きを覚えているのがすごいと思いました。僕と同じ居合でも、演武の速さや声を出す所がちがっていて、雰囲気も大人っぽく、同じ居合でもちがう所が色々あって面白かったです。次回も色々な道場の演武を観てみたいです。

全国青少年武徳祭に参加して

日本古武道 辰慶館

小路小学校三年

大崎 有希

古武道を始めた理由は学校で手紙が配られて面白そうだったからです。

武道の稽古の感想は、最初始めたときにまだコロナの時期だったから人が少な

かったけど2年生の終わりごろには人が増えて友達も増えて嬉しかったです。稽古の時には人が多くて、演武があまりたくさんできなかったけど、木刀を使って演武する時は楽しいです。

こばと修童館

中学校一年

十川 暖大

僕は第二十八回全国青少年武徳祭に中学一年生として参加し六年生のときよりもきんちょうをしていた。自分より年が上の人がいなかったからきんちょうしてもそれをやりきることができました。

まだ自分はしっかりとぜんぶのえんぎを完べきにできていなかった。

本番ではすこしミスをしてしまったけどしっかりと次の技はしっかりとミスらずにできた。

次青少年武徳祭に参加するかはわからないけどいつでも居合をできているじょうたいでいたい。

こばと修童館

小学校六年

永渕 匠真

ぼくは、今年の青少年武徳祭で、「最後までやるきる」ということを学びました。まず、選手宣誓をしたことについてです。大会一週間前から、宣誓の内容を覚えてきました。でも、考えるたびにおかしい所が出てくるので、中々声を出す練習ができませんでした。大会二日前になって、漸く文が完成しました。大会まで声を出す機会はあと少ししかありませんでしたが、本番の宣誓はかなりはきはきと話せたと思います。ギリギリになっても、良い文が出来上がるまで考えることができました。でも、声を出す練習は、流石にもっとしたほうが良いと思いました。次に、大会時の演武についてです。今年、基礎居合(組み立ち)↓本居合という順で、団体としての演武を行いました。大会前の練習では、中々時間内に演武が終わりきらず、礼を数回省略などして、何度も練習しました。練習していくうちに、ぼくはだんだん、皆の気持ちが一つになっていくのを感じました。そして、最終的に、演武を制限時間内に収めることができました。一人一人が団結して演武したからこそ、「最後までやりきる」ことができました。

「最後までやりきる」ということを頭に入れて、日々精進していきたいです。

こばと修童館
小学校六年 濱永 和佐

私は、七月十七日の全国青少年武徳祭で全体の副リーダーというポジションで演武しました。本番では、とてもきんちょうしましたが、今まで練習した成果をはつきできるような一生けん命演武することができました。団体で演武するということは、個人で演武することとまたちがつた難しさがあると思います。団体で演武するにはまず、一人一人がみんなに合わせるという意識をし、全員の心をつなぐということが大切だと私は思います。そして、一人一人が自分の演武がさらによくなるようにたくさん練習を重ねることがよりよい演武をするこゝとにつながると思います。今年はずっと、最優秀団体賞をとるすばらしい賞をとることができてとてもうれしく思います。最優秀団体賞をとることができたというこのすばらしい経験や私達の居合がさらによくなるようにたくさんこのことを教えてくれた先生方、そしていつも送迎をしてくれる家族への感謝の気持ちを忘れずに、これからの日々の練習も一生けん命がんばろうと思います。来年も、この大会に参加し、もう一度最優秀賞、個人賞がとれるように、気をぬかず努力していきます。

こばと修童館
小学校六年 南 太一

ぼくは本いいいでまん中でえんぶさせてもらってすごくきんちょうしていたけどちやんとまちがえんぶできてよかったです。後、五年生の時ゆうしようできなくてすごくくやしかったけど六年生でゆうしようできてよかったです。

こばと修童館
小学校六年 井川 龍騎

指先に緊張走り技決まる

こばと修童館
小学校六年 和田 花

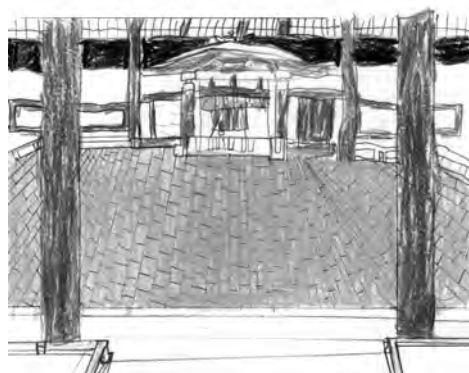
武徳祭 最優しゆう賞 うれしいな

こばと修童館
小学校五年 渡部歩乃佳

私は初めて武徳祭に出ました。武徳殿についた時は思ったよりきんちょうしませんでした。でも、えんぶ中になると少しきんちょうしました。でもえんぶが全とおわったあとにとてもホツとしました。理由は二つあります。それは、全部まちがえんぶできなかったからです。もう一つは思っていたより大きなはくしゅが返ってきたからです。来年も最優秀賞を取れるようにけいこをがんばりたいです。



こばと修童館
小学校五年 中村りんたろう



こばと修童館
小学校五年 北森 空我

武徳祭
今まで嫌々居合の練習に通っていたけど、武徳祭で、みんなと一緒に最優秀賞を取れて、続けてよかつたなと思えました。
演武は、きんちょうして、きそ居合二本目が頭から飛んで、突きが甘くなつてしまいました。

来年はパニックにならず、正確に大きな声で出来るように、先生の手本をよく見て、自分から進んで練習をしたいと思います。

次は個人賞を取りたいです。
暑くてポーとしていたので、演武後に飲んだアクエリアスが最高においしかったです。

こばと修童館
小学校五年
久志井陽加
(俳句) 武徳祭 最優秀賞 ゲットだけ

日本古武道晟慶館
小学校四年
山中 夏輝

初めて、さんかできて、まちがえないで、できて、とつてもうれしかったです。空手のぶどうの音がものすごくて、びっくりしました。がんばったけど、ゆうしようできなくて、くやしかったです。次は、がんばって、ゆうしようして、トロフィーがほしいです。

日本古武道晟慶館
小学校三年
北原 嵩大

青少年武徳祭に参加して
ぼくは、はじめて大会に参加しました。
ぼくは、はじめて武徳殿を見ました。すごく大きくて、びっくりしました。さらに、からてや武道のほかのチームなど、いろいろあってびっくりしました。大会本番で、すぐドキドキしてたけどがんばりました。また大会に参加して、表しようにもらいたいです。

日本古武道晟慶館
小学校二年
上田 将文
はじめて大会に出られてうれしかったです。つぎはトロフィーをもらえるようにもつとれんしゅうをがんばります。

日本古武道晟慶館
小学校二年
古屋ましろ

あついでやりきりました。去年よりきんちようせうずにできました。

日本古武道晟慶館
小学校二年
浅野 倫弘

さいしよは、みているだけだったので、あんまりきんちようしなかつたけど、まえにでるとききんちようしました。
空手をみて、すごいなと思いました。ぼくもトロフィーをもらいたいです。

日本古武道晟慶館
小学校二年
櫻木 洸太

きんちようしたけど、きんちようをとばして、かっこいいかおでやってみました。



日本古武道晟慶館
小学校一年
井上 慶祐

はじめてのたいかいで、きんちようしたけどがんばりました。たのしかったです。

日本古武道晟慶館
年長
上田 耀久
がんばりました。



武学館
小学校六年
松原 聖

すごいたくさんの人がいた。
暑かったけど、がんばって発表できた。
ヌンチャクの人たちがすごくかっこよかった！

武学館
小学校六年
田井 心悠

暑き日に みんながんばる 武徳祭

武学館
小学校五年
田井 英翔

武徳祭では自分がするりゅうはのかたをせえいっばい大きなこえでできました。
ほかのことをやっているところけんどうのところでもきになったのはぬんちやくをつかっている人がいておどろきました。



武学館
小学校四年
中澤 太陽

形をする 武徳殿で 武徳祭

武学館
小学校三年
宇野 由人

ぼくは、八歩打をしているときに、おくれてしまったけれど、さい後までできてよかったです。
武学館のみんなでえんぶができて楽しかったです。

武学館
小学校三年
藤田真太郎

八じから、一じまでながいとおもったけどみじかかったのしかった。
ぶとくさいまだ一回しかでてなかったしきんちようしたけどだいじょうぶだったです。

武学館
小学校三年
藤原芙瑛子

みんなとかたをやつてとてもたのしかったです。
へいあん五だんなどのかたもしっかりやれてよかったです。



武学館
小学校二年
岩井 志築

ぶとくさいにはじめてでてたのしかったです。ぶがくかんでみんなとれんしゅうをたくさんして、ぶとくさいでがんばれたなと思いました。

武学館
小学校一年
宇野未希子

はじめてでドキドキシマシタ。いつか、めだるを、もらいたいです。

武心流空手道継心会
小学校六年
奥村 隼史

声に気をつけて型をしました。



武心流空手道継心会
 小学校五年 川原 陸

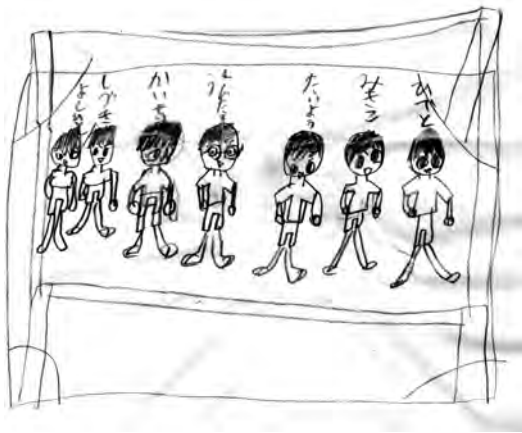
りっぱなところでかたが出来てとてもすごい経験になりました。
 これからも大切な人を守るために空手をやっていきたいと思っています。

武心流空手道継心会
 小学校五年 奥村 悠斗

歴史ある所で、空手をさせてもらえて、すごくうれしかったです。
 これからももうまくなれるようにがんばります。



武学館
 小学校二年 中澤がせい



正守和道塾
 小学五年 木村 奏汰
 今回は、とてもきんちょうしました。自分的には、練習ができていませんでした。次回はもう少し練習をして参加していきたいです。

正守和道塾
 小学二年 茂松 沙藍

自分もがんばったけど、ほかの人もがんばってすごいなと思いました。もつとよくなってトロフィーももらうようにがんばりたいと思いました。

正守和道塾
 小学四年 茂松 隼実

初めて「礼」とかの言葉を言って、三人くみ手で自分達で考えるのがむずかしかったです。

ぼくは、平安神宮に何回も行っていて大会に出さしてもらえてありがたいと思っています。もつと大会に出たいです。こじんしょうをとりたいです。

正守和道塾
 小学四年 熊谷 桃

はじめてごうれいをしたのできんちょうしました。良いけいけんになりました。えんぶはまちがえずにできたので良かったです。

正守和道塾
 小学二年 熊谷 花

ことばをいうのがむずかしかったです。



正守和道塾
 小学三年 根木涼太郎

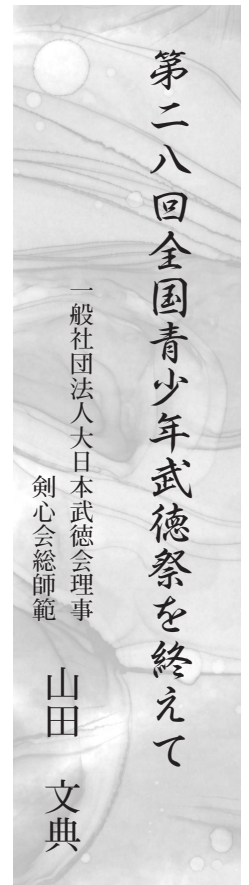
声を大きく出せました。まちがえずに形ができました。これからも練習してがんばりたいです。

今回の武徳祭で棒術を姉と一緒にやらせてもらって、家や道場などで稽古したので、ピタリ棒の動きがあつて、今まで以上に上手に棒が打てたと思います。今回のことを元に、次回の武徳祭でも今まで以上にピシッと上手に形や棒を打ちたいです。

正守和道塾
小学五年 藤本 琉雅

正守和道塾
中学二年 藤本 望鈴

今回の武徳祭に出席し「納めの儀」を務めさせていただいて学んだ事は「緊張している時ほど一生懸命にやる」という事です。演武本番では、一段と大きな声で、丁寧に形をうつ事ができました。表彰の際に「納めの儀、すごく良かったよ」と声をかけていただいた事や賞をいただいた事は大変光栄で忘れられない出来事となりました。また機会があればぜひ武徳祭に出席したいと思いました。



第二八回全国青少年武徳祭が、盛会となりましたことを心からお慶び申し上げます。

当日の京都市内は、梅雨まだ明けきらない猛烈な高湿度と日照りという酷暑の中での開催となりましたが、全国から集結した青少年が日ごろの鍛錬の成果を十分発揮し、その気合と躍動美は、時折武徳殿内を吹き抜ける涼風と相まって暑さを忘れるさわやかさを感じた大会となりました。

今回、私は管理運営委員長として、多くの本会ボランティア参加の先生方と共に、十分な事前準備と各種事故防止に向けた対策を実施いたしました。

開会式では演武上の心がけとして、礼節、熱中症防止、事故防止の三点の徹底についてお願いをいたしました。その後、始まった気迫の籠った素晴らしい演武が次々に繰り広げられ無事終了しました。

私は、入退場する参加者を常に注視しておりましたが、礼式を確実にこなしている青少年の姿を見ることができ、武徳の精神が着実に発揮されており、大変良かったと思います。

特に今回、初めて武徳殿で演武した青少年が多数含まれていたことから、日本伝統武道の聖地での貴重な経験と感動は、それぞれの胸に深く刻み込まれ、本会の次に時代への大きな飛躍につながるものと確信しました。

あとになりましたが、今回、ご協力賜りました各道場の先生方、保護者、ご家族の皆様へ深く感謝申し上げます。

第28回全国青少年武徳祭



